

電車

中 三

私は、電車通学をしています。これは、そんな私が電車の中で経験した出来事です。

私は、学校から家に帰る途中でした。その日の電車は特別混んでいるわけでもありませんでした。電車に乗ると、乗客が微妙な距離を保って座っていました。人が一人座れるような、座れないような間隔でした。私と一緒に、ある親子も乗車しました。とても幼く、まだ歩けるようになったばかりのような男の子と、その母親でした。男の子は座ることができましたが、母親は座ることができず、男の子の前に立っていました。母親は、男の子の隣に座りたそうなの、困ったような表情をしていました。少しつめれば座れそうだな、と思いました。しかし、「つめてください」と私が言うのも変だし、何より言いづらいなと思います、様子伺っていました。電車が大きく揺れ、驚いたのか、男の子が泣きだしました。乗客が一斉にその男の子の方を見て、厳しい顔をしました。母親は、男

の子を抱きかかえあやしつつ、申し訳なきように頭を下げていましたが、不穏な空気が流れていました。そのとき電車が駅で停まり、一人のおばあさんが乗車してきました。車内を見渡し、平然と、「座りたいんだけど、ちよつとつめてくれるかね？」

と言いました。すると、座っていた人は、「すみません。」

と言い、つめ始めました。私がちゅうちよしていたことを、こんなにも平然と言えるなんて、すごいなと思いました。しかし、次の言葉で更に驚き、感動しました。そのおばあさんは、あの親子に向かつて、

「ほら、お嬢ちゃん。席が空いたよ。早く座りな。」

と言ったのです。自分が座る為に声をかけたのではなく、あの親子の為だったと気付き、そのおばあさんの行動力に感動しました。親子は嬉しそうに席に座りました。そしておばあさんは泣いていた男の子に、

「はい、どうぞ。」

と笑顔で飴をあげて立ち去っていきました。

「かっこいい」と心から思いました。

この経験から、自分の為でなく、人の為に行動できる力がかっこいいものだと思えました。私も、人の為に優しく行動できる人になりたいと思いません。